日本共産党あきる野市委員会発行

あきる野民報

発行責任者/松平重幸　TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2006.5.21　No.439（毎月2回発行）

あきる野9条の会

パワーアップイベント…

発足1周年記念

5月13日・秋川キララホールにて

そぼ降る雨の中 460人が集う！

オープニングコーラス、朗読、ピアノ演奏、講演と市民手作りのイベントは多彩で豊かな内容を盛り込みながら進行する。

瀬沼代表の「9条を守ろう」の決意と呼びかけは力強く会場に響く。

心を揺るがす関さんのピアノの音色。

郡山さんの戦場の子どもの写真が参加者に衝撃を与え、そして最後の「私たち大人の責任で平和を守らねば」の訴えが会場に共感の渦を呼んだ。素晴らしい集いだった。

収録した参加者の声がまた、私たちに勇気を与えてくれる。

特別講演　郡山総一郎さんが

スライドを駆使して語る戦場の子供達の姿。会場に衝撃が……。

パキスタンのカーペット工場ではこんな小さな子も働いていた。

ピアノ　関裕子さんが

心を揺るがすピアノの響き、平和への願いが会場に満ちて……。

《参加者の感想》

沢山の人が集まってよかった。戦争を体験した年配の方から、今の日本は戦争前の状況とよく似ていると聞かされていましたが、今日の話を聞いて何かしなければとの思いを強くしました。（40歳代女性・草花）

◆

戦争で犠牲になるのはいつも子どもや女性。関さんの素敵なピアノ演奏を聴けるのも平和であればこそ、参加してよかった。（60代女性・野辺）

◆

イラクは遠い、しかし日本人も戦争にかかわっている事を忘れてはならない。その結果、今の政治の問題となっている事も分かった。「9条の会」を拡げるために寄与してゆきたい。（60代男性）

◆

戦争は多くの国民を貧窮で悲惨な生活に追いやるだけである。郡山さんは世界の現実を目の当たりにさせ、実感をもたせてくれた。9条改悪を許さない頑張りは人任せでなく、自分が何をすべきか考えねばならないと思う。（70代女性・草花）

◆

子どもが戦争の犠牲になり、とても痛ましい。それに対する大人の責任、日本の加担・責任の指摘はその通りだ。（母の日に実家に帰ってきて、参加した29歳男性）

こんな話、私は初めて聞いた。衝撃だった。もっと知って深く考えないといけないと思った。（一緒に来た恋人28歳女性）

◆

郡山さんが、多くの人から「頑張ってください」と言われると、つい「貴方にも責任があるよ」と言いたくなるという話にどきっとした。（60代男性・雨間）

◆

ピアノ演奏、合唱、朗読、講演と多彩な内容で雨の中沢山集まってよかった。郡山さんの最後の話が、前半の写真映像によって生きて感銘した。（50代女性・牛沼）

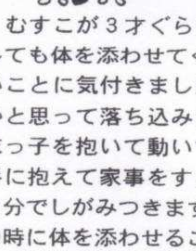
◆

子を持つ身になったいま、「9条が改悪されて、わが子が戦争にいくことになったら」と、ぞっとしました。日本の危機を肌で感じることが出来て、参加出来たことに感謝しています。（30代女性・高尾）

◆

生活に追われ考えていなかったが、子や孫の事を思うと逼迫した状態だと強く感じました。私達に何ができるのかを真剣に考える時です。（50代女性・五日市）

おはなしき　こども



むすこが3才ぐらいの頃、だっこしても体を添わせてくれず抱きにくいことに気付きました。だっこ不足かと思って落ち込みましたが、最近末っ子を抱いて動いていて発見。片手に抱えて家事をすると、子どもは自分でしがみつきます。結果、だっこの時に体を添わせることになるようです。むすこもやっぱりたくさんだっこしたのです。でも片手ではなく、両手で大事に。（家事の時はおんぶか待たせていました。）

たからものも大事に抱えているばかりではだめなのですねぇ。今はちびを片手に、家事もあそびもピッピもPTAも、アレもコレも…。エッ？やりすぎ？

たばた　あずみ
連絡先は☎550-6674

野良望

日米両政府は米軍基地再編計画の「最終報告」を取りまとめました。基地を抱える自治体から強い反対運動が起こっています。山口県岩国市では、住民投票の結果、圧倒的多数が反対の意思を表明し、その後の市長選挙でも、基地反対を訴えた候補者が当選しました。沖縄の市長選挙でも、「新基地建設反対」を訴えた女性の市長が誕生しました。◆再編計画で米軍横田基地は、府中市にある航空自衛隊航空総司令部を横田基地に移転させ、米軍と自衛隊一体の基地になるということです。現在、あきる野市でも、草花、二宮、小川、野辺などでは米軍機の騒音に悩まされています。議会でも横田基地に抗議するよう再三求めていますが、多摩川の向こうのことだと他人事のような市長の答弁には怒りを感じます。◆日本共産党西多摩青梅地区の議員や住民などでつくった基地対策委員会では、基地の現地調査や学習、宣伝行動などの運動を進めています。（山根）

三多摩メーデーに7千人！

あきる野の参加者、「9条の会」の旗なびかせて～

快晴の五月一日、三多摩メーデーの取り組みは、井の頭公園に七千人の参加者が集まり大盛況でした。

「許すな憲法、教育基本法改悪」「大企業は社会的責任を果たせ」「リストラは止めろ」「格差社会をなくせ」などのスローガンのもと、集会と吉祥寺駅北口までのデモ行進を行いました。

あきる野の参加者は、新しくつくつた「9条の会」の旗をなびかせて元気にデモ行進し、シュプレヒコールに喉をからしました。

解散後は吉祥寺伊勢丹の食堂で生ビールのジョッキをぶつけ合い、打ち上げをしました。

「あきる野9条の会」の旗は会場でもひときわ目立ちました。その旗のもとに元気一杯のあきる野の女性達。一層際立っていたとか……。

「温泉問題を考える会」が市長への質問状（17項目46問）を提出（5月10日）し、5月17日に回答を求めて面談。

さらに

新たな運動を呼びかける

第三回「温泉問題を考える会」開催を決定

6月10日2時～・ルピア3階

先日、凸根議員宅に電話が…

電話をとると、市民から温泉建設への怒りの声が……

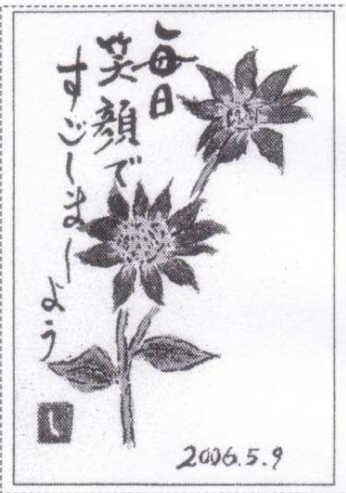
話の内容は次のようなものです。共産党のチラシを読んだ。今、各地で温泉経営が赤字といわれている中で、今どきなぜあきる野市では温泉を作るのか、市長がワンマンなのではないのか、誰が賛成をしたのか？議会でやめさせることは出来なかったのか？

温泉建設反対の署名もした。今からでもやめさせることは出来ないのだろうか…と、次々と疑問が投げかけられました。

署名など何か出来ることがあれば協力したい。共産党の議員にはなんとしてもがんばってもらいたい。一度議会の様子を傍聴に行きたい。自分は9年前に他市から引っ越してきたが、他市と比べて、あきる野市は諸々の料金が高い（下水道料金他）し、福祉も最低、いっそ他市にもう一度、引っ越してしまいたいくらい……。

話は長く、約20分ぐらい続きましたが、温泉建設に対する市民の怒りの強さがひしひしと伝わってくる電話でのやりとりでした。

地域を回って、いろいろな方との対話の中でも同様の怒りの声が多数寄せられています。



絵手紙／神崎茂子さん・瀬戸岡在住

歴史探訪（第19回）　軍道紙（ぐんどうがみ）（2）

時代と共に製法技術の発達によって全国各地で和紙生産が盛んとなり、江戸時代の各藩の貴重な財源として、和紙は米に次ぐと云われるようになりました。江戸も商業の発展に伴い一大消費都市となり、江戸の供給源として武蔵国小川（現・埼玉県小川町）では、七千人が和紙生産に従事していたと云われます。

明治以降の和紙生産は衰退の一途を辿ります。それは文明の発展による紙の膨大な使用量や洋紙の大量生産に勝てず、殊に第二次世界大戦後の高度経済成長が徹底的なダメージを与えたと云えます。機械化による洋紙の生産量と手造りの和紙の生産量が前途に明らかな違いを生じましたが、和紙の優秀性は世界中の工芸家に認められ、民芸品・工芸品に和紙の伝統が伝えられてきています。私は一月に行われた坂田藤十郎襲名公演で、和紙の衣装を着た藤十郎の舞台を観てきました。

市内乙津の「ふるさと工房五日市」で、和紙である軍道紙の製法が伝統として守られてきました。現在建設中の温泉施設と一体化した経営となる関係で三月末で閉館し、予定では来年四月にオープンとなります。周辺では珍しい和紙の製法を伝えてゆき、あきる野の文化を後退させぬよう、更に発展させて欲しいと思います。

（続く）草花・木崎秀治

「あきる野ふるさと工房五日市」（乙津）

俳句

めざむれば遠山霞春深し（照代）

青空へ桜の大樹屋敷林（静子）

漱石も泊まりし浜屋春しぐれ（勝代）

革命は僚原（りょうげん）の火よ花吹雪（忠治）

甲高き子供等の声チューリップ（やすこ）

花びらを吹き上げて着く電車かな（米里）

風光る手話の指追ふ子の眼（まなこ）（かほる）

仏観て京の桜と鰊（にしん）蕎麦（秀治）